

実話をもとに描く、
やさしさに満ちた
希望と再生の物語

あなたの
大切な人が認知症に
なったら？

Story

妻・真央や二人の娘と暮らす39歳の只野晃一は、充実した日々を送るカーディーラーのトップ営業マン。そんな彼に、顧客の名前を忘れるなどの異変が訪れる。下された診断は、「若年性アルツハイマー型認知症」。驚き、戸惑い、不安に押しつぶされていく晃一は、とうとう退社も決意する。心配のあまり何でもしてあげようとする真央。しかし、ある出会いがきっかけで二人の意識が変わる。「人生を諦めなくていい」と気づいた彼ら夫婦を取り巻く世界が変わっていく…。

“貫地谷しほり×和田正人”で描く、
笑い涙の夫婦の9年間の軌跡

本作は、39歳で認知症と診断されながらも、働きながら講演活動を続けている丹野智文さんの実話に基づく物語。夫と共に前を向く真央役に、連続テレビ小説「ちりとてちん」のヒロイン役で知られ、ドラマ「大奥」ほか映画・ドラマ・舞台で活躍する貫地谷しほり。夫・晃一役に、映画「THE LEGEND & BUTTERFLY」、「Winny」など話題作への出演が続く和田正人。実力派俳優の二人が、晴れやかな感動を生み出す。

「認知症になったら人生終わり」なんかじゃない

介護の世界を描いて13万人以上の人々に感動を伝え続ける映画「ケアニン」シリーズ制作スタッフによる本作。タイトルには、“小さな灯でも、みんなで灯せば世界はこんなにも明るくなる”という願いが込められた。本人や家族が、認知症とどのように向き合えば笑顔で生きられるのか。認知症になっても安心して暮らせる社会とは？その一つの指標となり得る作品が誕生した。

企画協力：丹野智文さん

1974年、宮城県生まれ。ネットヨタ仙台に勤務。39歳のときに若年性アルツハイマー型認知症と診断される。診断後は営業職から事務職に異動し、勤務を続けながら、不安を持っているご本人のための忘れ総合相談窓口「おれんじドア」実行委員会代表を務める。自らの経験を語る講演活動にも力を入れている。

「オレンジ・ランプ」とは

認知症のシンボルカラーのオレンジと、みんなで灯せば世界を明るく照らすことのできるランプ。この二つを組み合わせ、認知症になっても暮らしやすい社会づくりの象徴となる願いを込めたタイトルです。



貫地谷しほり 和田正人
 伊崎亮則 新井康弘 水木薫 平尾葉々花 安山夢子 井上拓哉 池田朱那 金子さやか 谷田部俊 日向丈 田口智也 鈴木武 金澤美穂
 山田雅人 堀田真三 赤間麻里子 赤井英和 / 中尾ミエ
 監督：三原光寿 企画・脚本・プロデュース：山国秀幸 脚本：金杉弘子 音楽：宮崎道 主題歌：THE CHARM PARK「セルフノート」 原作：山国秀幸「オレンジ・ランプ」（幻冬舎文庫）
 製作：野中雅志 野村弘幸 依田英 今村俊昭 五老剛 プロデューサー：原雅康宏 高瀬博行 アソシエイトプロデューサー：小川明日香 藤本悠人 企画協力：丹野智文
 撮影：鈴木周一郎 照明：宮藤徳 録音：西岡正巳 編集：宮島竜治 美術：津留啓亮 装飾：森浦彩賀 衣装：若田友裕 チェパヤスロ メイク：伊藤里香 キャスティング：田山大悟 助監督：金子功 制作担当：遠藤祐輝 Official Partner：大塚生命保険
 特別協賛：湘南アイパーク/ドラッグコーキング/ネットヨタ仙台 / 日本介護クラフトユニオン / 済山会医療福祉グループ / カミングネットワーク / 在宅支援総合ケアサービス 協賛：ファーマライフ おれんじ薬局 / 公益社団法人 神奈川県医師会 / 小田原福祉会 養生編
 協力：日本認知症本人ワーキンググループ / 認知症の人と家族の会 / 日本在宅ケアアライアンス / 認知症サポーター・キャラバン / 日本認知症ケア学会 / 日本老年看護学会 / 日本老年精神医学会 / 全国認知症地域支援推進員連絡会 / 地域共生を支える医療・介護・市民全国ネットワーク
 推薦：厚生労働省 製作：「オレンジ・ランプ」製作委員会（ワンダーラボラトリー / JR西日本コミュニケーションズ / アイ・ビー・アイ / ギャガ / 朝日放送テレビ / 朝日新聞社）制作：JR西日本コミュニケーションズ 制作協力：TKSpplus ACF2 配信：ギャガ GAGA*
 オレンジ・ランプ / A LIFE WITH MY ALZHEIMER'S HUSBAND / 日本 / 日本語 / 2023 / ビスタ / 5.1ch / 100分 ©2022「オレンジ・ランプ」製作委員会

www.orange-lamp.com/ @eiga_orangelamp www.facebook.com/eiga.orangelamp/

9月21日は、世界アルツハイマーデー（認知症の日）

誰にとっても認知症は身近な病気の一つ。あなたの大切な人のためにも正しく理解することから始めてみませんか？